

(様式1)

平成29年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 100	提案機関名 かながわ西湘農業協同組合
要望問題名 ハウスみかん施設を利用したオリーブの栽培について	
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等） 】 ハウスみかんに使用した施設の有効利用として、オリーブの栽培について研究をお願いしたい。 オリーブの開花時期は梅雨にあたり、日本では結果率がわるいとされているが、ハウス施設で栽培することにより、リスクを軽減できると考えます。	
解決希望年限	①1年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内
対応を希望する研究機関名	<input checked="" type="checkbox"/> ①農業技術センター ②畜産技術センター ③水産技術センター ④自然環境保全センター
備考	

※ ここから下の欄は、回答者が記入してください。

回答機関名	神奈川県農業技術センター	担当部所	足柄地区事務所研究課
対応区分	①実施 ②実施中 ③継続検討 ④実施済 <input checked="" type="checkbox"/> ⑤調査指導対応 ⑥現地対応 ⑦実施不可		
試験研究課題名	(①、②、④の場合)		
対応の内容等	国内で栽培されているオリーブ主要品種は樹7～8mと高くなるものが多いため、当所で所有している温室を含む一般的なミカン栽培用の温室では栽培が困難だと考えられます。 また、施設栽培では、保温や加温、あるいはビニールの張替え等のコストがかかること、オリーブは加工品として通年販売する性格上、出荷時期が調節できるという施設栽培の有利性がないことから、オリーブの施設栽培については経営面での優位性について調べる必要があります。 現地ほ場等で試験栽培等を行う際には、協力します。		
解決予定年限	①1年以内 ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内		
備考			